

「beginning」 生徒会発足

現在、私たち生徒会はスローガンを「beginning」として活動をスタートしています。

昨年は生徒一人一人の個性を引き出し活気に満ちた学校を創ることを目的として活動を行っていました。今年はその個性を自ら発信していくことが重要だと考え、「二つの主体性」をテーマとして挙げました。

一つ目は、「学校生活に対する主体性」です。これは、校則や社会のルールなどの規律を遵守することを徹底し、自分自身が誇れる学校にしようという意味です。

二つ目は、「行事に対する主体性」です。これは、仲間意識を高め、生徒自身がより積極的に各行事に参加し、思い出深いものにするという意味です。

昨年付属高校50周年を迎えた本校。今年はその50年に向けて新たな伝統を築くスタートの年です。生徒全員が主体的に行動することが、輝く九産に繋がると考えます。私たち生徒会も今まで以上に積極的に活動し、スローガンを体現することに努めていきます。

生徒会長 2年 町田 薫平(平野中)



生徒会

(左下から時計回りに)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 副会長 野仲 夏未(三国中) | 体育部長 豊島 佳澄(大原中) |
| 書記 岡 ちひろ(基山中) | 庶務 中嶋 あゆみ(那珂川南中) |
| 書記 大谷 志織(学院院中) | 生徒会長 町田 薫平(平野中) |
| 文化部部長 前田 しおん(筑山中) | 副会長 小森 元真(大利中) |

付属高等学校50周年記念式典

10月7日(土)、本校体育館にて付属高等学校50周年記念式典が執り行われました。多くの来賓の皆様にご出席を賜り、和太鼓部の演奏や吹奏楽部の合唱などが華を添え、盛会の内に終了いたしました。



父母の会 会務報告

平成29年4月から平成29年11月まで

◎福岡県私立中学高等学校保護者会連合会 福岡支部 会長役員会
【開催日時】平成29年4月25日(火) 午後6時 【場所】セントラルホテルフクオカ
栗野前会長、堀会長、古田副会長がご多忙の中、出席されました。

◎福岡県私立中学高等学校保護者会連合会 福岡支部 通常総会
【開催日時】平成29年6月1日(木) 午後5時 【場所】アークロイヤルホテル福岡天神
栗野前会長、堀会長、古田副会長がご多忙の中、出席されました。

◎福岡県私立中学高等学校保護者会連合会 総会
【開催日時】平成29年6月8日(木) 午後1時30分
栗野前会長、堀会長、古田副会長がご多忙の中、出席されました。

署名請願活動について(お礼)
昨年7月、私学助成の充実強化と父母負担軽減等を目的として、会員の皆様にご署名活動の協力をお願いしました所、約10,755名の方々のご支援を賜りました。衷心から厚くお礼申し上げます。

KYUSANKO NEWS 104

九州産業大学付属
九産高通信

2018.3.1 第104号

発行:九州産業高校広報部



第55回卒業式

～卒業生3年間の歩み～



は次の二の意思が込められたものといわれる。「明」は文明開化への思い、「治」は国内を安定的に治める政を目指す思い。しかも、有史以来の歴史の大局面とも言える明治維新を成し遂げたのは、無位無冠の志をもった存在であった。地方の民びとのエネルギーが時代を大きく転換させたのである。松陰の言葉を借りれば、「草莽」による「崛起」である。

また、明治以降は「社会の近代化」富国が強く押し進められた時代であった。そして、戦後は「高度経済成長」国民富へと転換を図り、見事に結実させ世界的経済大国となった。この姿を捉えて、明治は坂を上り始めた時代、平成は坂を上り終えた時代、とある学者は言う。

では、今後はどのような時代の到来が予測できるのか？ 超少子高齢化社会の訪れは待たない。先の学者の言ではないが、坂を上り終えた先は？ 何人たりとも確かなことは言えない。本当に不確かな時代としか言いようがない。けれども、時間は立ち止まらずにはいられない。坂は上り切つれば、必ず下りがやってくるものではないか。だとすれば、その下りをどれだけ歩きやすい緩やかなものにするかであろう。様々な角度から社会構造の見直しを求められ、同時に個々人の生活の在り方が問われている今日、この豊かな時代をどうやって、できるだけ永く水平に維持継続させていくのか？ このことは、今後の大きな課題であろう。

本校も、漸く五十年の歴史を刻み、次なる五十年に向けて力強くスタートした。その記念すべき年に卒業を迎えた諸君、卒業後は、新時代を担う者としての使命を胸に秘め、自らの未来開拓に邁進し、社会の要請に応じうる確かな人材に成長されることを期待している。



宰府の風

校長 組坂 法人

今年、平成の終幕の年であり、幕開けから三十年が経つ。この間、二十世紀から二十一世紀への世紀移行も重なった。維新百五十年に当たる節目の年でもあるが、「明治」という元号には次の二の意思が込められたものといわれる。「明」は文明開化への思い、「治」は国内を安定的に治める政を目指す思い。しかも、有史以来の歴史の大局面とも言える明治維新を成し遂げたのは、無位無冠の志をもった存在であった。地方の民びとのエネルギーが時代を大きく転換させたのである。松陰の言葉を借りれば、「草莽」による「崛起」である。

学校行事

2学期・3学期



第10回紫祭「十人百色一はじけろっ!九産生」

10月13日(金)に第10回紫祭が開催されました。今回は記念すべき10回目ということで、新たな試みとして全校生徒参加のもと文化部発表が行われました。文化部にとって日頃の活動内容を広く伝えることのできる絶好の機会であり、演奏したり、映像を用いて説明したり、各々趣向を凝らしたものとなりました。また、当日はあいにくの小雨模様でしたが、中庭では3年生の飲食店に長蛇の列ができ、中央ステージでは書道部のパフォーマンスや有志によるダンスが行われ、雨に負けない熱いステージとなりました。



芸術鑑賞会 10月5・6日



献血実施 12月8・11・12日



交通講話 12月15日

12月15日(金)、本校体育館にて交通講話が行われました。講師は、地域の交通安全啓発に尽力して下さっている、かめライダーこと江上喜朗さんです。多くの写真やユーモアを交え、高校生が巻き込まれる可能性の高い自転車事故について話してくださいました。時折笑いも起こる中、生徒たちは真剣な面持ちで話に聞き入っていました。



寄附講座 12月13日

1年生を対象とした寄附講座が12月13日(水)に行われました。各分野において第一線で活躍されている方々の興味深い話を聞いて、生徒たちは刺激を受けるとともに、今後の高校生活や進路選択の参考となる貴重な機会となりました。



課題研究発表会 機械科

機械科3年生の卒業研究である課題研究発表会が、12月4日(月)に行われました。生徒達は3年間実習で学んだ技術を生かし、研究に取り組んできました。大賞に輝いたのは、自転車の車輪とモーターを組み合わせ、クランク機構を使い動く、自動缶つぶし機製作班でした。第2位は風力やソーラー等を使い発電をする回転体を使ったものづくり班で、第3位はすべて木材を使用した自転車を作った、ユニークな自転車製作班でした。すべての班が個性豊かなアイデアなどを出し合い素晴らしい発表でした。



私達が今回の課題研究を通して感じた事は成長です。1年生から様々な実習を行い、課題研究はその3年間での成長を表現する場だと思えば、班員や担当の先生と協力し約半年間頑張ってきました。私達の班は自動空き缶つぶし機を製作しました。モーターの回転速度の調整や缶をつぶすための力を生むために変速機を使うなどして工夫をし、無事納得のいくモノを作る事が出来ました。この経験を生かし、それぞれの就職先で更に成長し活躍できるような人材になれるよう努力していこうと思います。

3年機械科1組 市川 皓瑠(大和中)

平成30年度 入学試験実施

平成30年度の入学試験が専願入試1月23日(火)、前期入試2月2日(金)、後期入試2月10日(土)の日程で実施されました。寒波の到来やインフルエンザの流行など、受験生を取り巻く環境は厳しいものでしたが、各々が真剣な面持ちで試験に臨む姿が見られました。この大きな試練を乗り越えて成長した姿を4月の入学式で見せてくれるものと楽しみにしています。



部活動報告

JR二日市駅 絵馬奉納

私たちは、毎年1月にJR二日市駅に奉納するための絵馬を制作しています。今年は干支が戌なので、イヌを主体に富士、鷹、ナスを背景に書きました。この絵馬は受験生たちに合格してもらいたいと思う気持ちで描かせていただきました。この伝統を、これから入学してくる後輩にも受け継いでほしいと思っています。

美術部部長 北本 楓斗(野間中)



第22回マーチングイン九州2017 金賞



私たちは10月28日(土)に鹿児島市で行われた九州マーチングイン九州2017に福岡県代表として出場しました。初出場の大会でしたが、和太鼓部と共に金賞を頂くことができました。このチャレンジができたのは、部の垣根を越えて励まし合った仲間存在はもちろん、先生方や保護者の方の支えのおかげだと思います。応援してください、本当にありがとうございました。

第41回吹奏楽部部長 入口 恭子(香椎第三中)

平成29年度 第46回九州高等学校ハンドボール選抜大会 兼 第41回全国高等学校ハンドボール選抜大会九州地区予選

2月2日(金)より福岡県で開催された九州選抜大会に県代表として出場しました。初戦、優勝した大分高校に3点差で敗れましたが、立て直して決定戦で連勝しました。その結果、3月23日(金)より兵庫県神戸市で行われる全国選抜大会の出場権を獲得することができました。ハイレベルな戦いの中で勝ち取った九州の代表として、一戦必勝で上位進出を目指します。



ハンドボール部主将 藤川 優斗(多々良中央中)

